

## 令和3年度第8回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和3年9月29日(水) 午前11時07分～午後0時18分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中峰 寿彰 生涯学習部長 三上 正洋  
職務代理者 五十嵐 紀子 学校教育課長 須藤 友章  
委員 馬場 千晶 合宿の里・スポーツ推進課長  
委員 加藤 洋之 坂本 英樹  
委員 山田 敦久 社会教育課長 武山 鉄也

### 4. 議件(発言者、議事要旨及び議決事項)

#### ○中峰教育長あいさつ

本日は急遽ご案内し、いつもと違う時間帯にお集まりいただきました。

前回の会議後、市にとって様々な動きがあったところである。

9月14日には東高校の人事協議を電話で実施した。1回目の協議であり、学校の状況等について説明するなどしたが、まだ具体的な内容には至っていない。一方で、中川町が開催した「斎藤茂吉記念第28回中川町短歌フェスティバル」高校生の部において、東高校の生徒4人が入選した。全員が2年生であり、胡摩崎くんは優秀賞、伊藤くん、小野寺くん、菅沼さんは佳作に選ばれた。これは国語を担当している齊藤先生の指導力の賜物であるとも感じている。

9月16日には校長会議を開催し、新型コロナウイルス感染症対策等について話をした。明日をもって緊急事態宣言が解除されるが、北海道の対策本部会議資料などを入手しながら、本市の対応を検討していく。学校の行動基準レベルが変わることが想定されるなか、どのように調整していくか考えなければならない。

前回の会議でお伝えしたが、外国語指導助手のレイチェルさんが退任した。レイチェルさんの妹である後任のケイティさんも元気に学校で指導している。

本来であれば、上川教育局による「学校経営指導訪問」が始まっているところだったが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期になっており、10月初旬に実施予定である。

22日に開催された市議会臨時会は、牧野市長にとって最後の議会であり、議会終了後には議員会主催による惜別セレモニーが開催された。また、市長としての最終日となった24日には、職員はもとより、議員をはじめとする大勢の市民が退庁時に牧野市長を見送った。

27日には渡辺市長が初登庁し、庁議の後、各職場を巡回し訓示を行った。今後、市長と教育行政のあり方などについて協議することとなるが、11月には総合教育会議を開催したいと考えており、委員のみなさんにも顔を合わせていただく予定である。

明日は上川教育局主催の「教職員人事推進会議」であるが、オンラインでの開催となった。学校では加配として小学校における外国語等の専科指導など、その実情に応じた加配教員が必要となっている。具体的には、南小の外国語、士小の体育とも3年が経過するため継続を求めていく。また、年度途中で妊娠が判明した場合などには、産休に向け教員免許を保有している代替職員を探さなければならないが、

人材確保が非常に困難である。そのため、免許保有者の情報共有など人材確保のための体制づくりについて求めていく。

3期12年に亘り教育委員を務めていただき、その間、教育委員長も担っていただいた五十嵐紀子教育長職務代理者から今限りで教育委員を退任したいとの申し出があった。引き続きお願いしたいと要請したが、残念ながら10月28日の任期満了をもって退任されることになった。この後、五十嵐教育長職務代理者からご挨拶いただきます。

○五十嵐職務代理者

12年前に突然、教育委員の依頼があり、様々な人からの働きかけもあって引き受けたが、あっという間に12年の時が経ち、振り返るととても楽しく貴重な日々を過ごさせていただいたと思う。今後も士別で暮らしていくので、何かの機会にお目にかかることもあると思う。正式な挨拶は最後の会議のときにさせていただく。

○中峰教育長

後任の委員について検討を重ね、新市長の意向も確認し、人選に至ったところ。本日、市議会代表者会議において説明し、10月8日の第3回定例会初日に議案として提案するものである。(委員には、具体的候補者について説明)

本日の会議もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第18号 新市長への引継事項について説明を求める。

○三上部長

お配りした資料については、10月5日に渡辺市長への引継事項として説明する全97項目のうち、教育委員会に関するもの16項目を抜粋したものである。また、市長が選挙の際に作成した「骨子」を基に今後の方針を作成しているところであり、8日に開催する第3回定例会初日において、市長が「所信表明」として説明することになる。

○中峰教育長

引継項目が全てということではない。前回の会議でご覧いただいた「令和2年度事業の点検・評価に関する報告書」についても市長に見ていただく必要がある。市政に対して変化が求められている中であって、「前例踏襲することなく」ということについては、牧野前市長も話をされていたが、これは何でもかんでも、今だけを見て変えていくという意味ではない。「温故知新」とのことも踏まえ、各施設や事業が、どのような背景で、どのような目的のもと考えられてきたのかの経過を踏まえ、その上で現状を踏まえながら、必要な改革を進めていくということ。一足飛びに何でも変えていくのではない。元々どのような背景で教育委員会として対応してきたかについても、しっかりと再確認していかなければならない。

○山田委員

政策の骨子や引継について理解した。新たに検討するものもあるということか。

○中峰教育長

本庁部局を含め、骨子の中からどういうことが考えられるか検討し作成中である。市長に確認いただき修正することもあると思う。市長と懇談した際には、特に保護者の所得等により生じる教育格差や、

議員時代から関心のあった高校の魅力化などについて話があった。東高については、単に魅力化を進める流れに乗るのではなく、これまで培ってきた小規模校としての特色のもと「体験的な学び」などの取組を伸ばすことが必要と考えている。そのほか、部活動に対する支援や心豊かな子どもの育成、教育施設等の再構築などについて示されている。

○山田委員

朝日中学校の改修について、教育委員会サイドから提案していくよりも、住民からの要望に加え、市長の考え方を確認し、最善の計画との説明ができる方が良いのではないか。

○中峰教育長

これまでの経過と現時点の状況を踏まえ議論している。中学校もない地区では、新規就農者にも敬遠され、拡大につながる訳がないとの話もあった。一方で、事業実施には多額の予算も必要であり、本市の財政状況を勘案する必要がある。総合教育会議の際には、こうしたことも含め、幅広い視点で、皆さんから率直な意見交換をお願いしたい。

○加藤委員

高校の魅力化について、市長の思いもわかるが、翔雲高校については道立学校であり、どこまで関われるのかと感じている。一方で、東高は地域と連携し、様々な経験を通じて生徒が成長していく姿を見るたびに感動している。市内の建築物も限界が近づいており、難しい選択を迫られている。疑問はたくさんあるが、まずは先立つものがないと感じている。

○中峰教育長

翔雲高校には感染症対策などについても協力を要請している。明日、翔雲の木幡校長が中川町と音威子府村の教育委員会を訪問し学校をPRしたいとの相談を受け、両自治体の教育長にも連絡し、対応をお願いしているところ。また、本市の昨年度の決算状況については、人件費の削減や市立病院の経営安定により、財政調整基金を取り崩さずに済んだため、今後上向き可能性もあると感じている。

○五十嵐職務代理者

市長には、学校に足を運んで、子どもの様子を直接見てもらいたいと思う。学校だよりについても、牧野市長と同様、新市長に渡してもらいたい。

○馬場委員

東高に関しては、魅力を発信しすぎて、生徒数が大幅に増えることで困ることもある。現在の生徒数だからこそ出来ていることが多い。生徒が増えてしまい、積み上げてきたものが崩れてしまうことが怖い。

○五十嵐職務代理者

現状のように、1学年10人くらいが理想なのではないか。

○中峰教育長

この件についてはよろしいか。

(全員了承)

2 その他について

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○武山課長

前回の会議で、いぶきの利用方法について話があったが、確認したところ40代と見られる女性の方で、ほぼ一日中いることもあるそうで、要はWi-Fi環境下でインターネットを利用して過ごしているようだが、他の利用者と直接トラブルを起こしたことはないようである。このほか、生ゴミの投棄回数は減っているものの、一般ゴミの投棄回数が増えている状況である。なお、投棄した現場は目撃されていないため、現在のところ、貼り紙によって注意喚起しているような状況にある。

○中峰教育長

いぶきに限ったことではないが、ルールやマナーを守った普通の利用をしていただけないことは残念である。

午後0時18分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中 峰 寿 彰

会議録調整者

須 藤 友 章